

鳥獣けものみち

ドングリが凶作 クマに注意!!



看板がある
ところでは
特に注意!

クマ出没警戒警報が発令されています!!

クマにとってドングリは、冬眠に向けて栄養を蓄えるための大切なエサです。今秋はドングリに代わるエサを求めてクマが住宅地付近へ近づくことが予想されます。

クマによる人身被害を防ぐ対策

集落ぐるみでの対策

- エサとなる柿や栗などは、早めに収穫する
- 生ごみやあまった野菜、果物を外に放置しない



山での対策

- クマ鈴やラジオ、クマよけスプレーなどを携行する
- 単独行動を避け、作業中はこまめに周囲を確認する
- クマの活動が活発な朝夕の作業は避ける



出会ってしまったら

- 後ずさりしながら静かに立ち去る
- 子グマを見ても近づかない
※近くに母グマがいます



襲われそうになったら、写真のように足を開いてふせ、首を守る姿勢をとりましょう

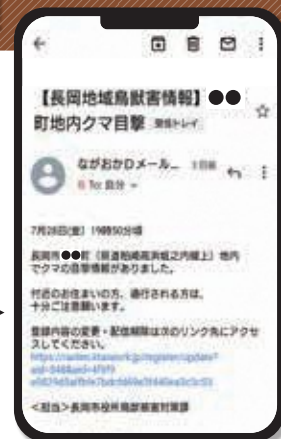
市登録制メール

「ながおかDメールプラス」に登録すると、クマ出没情報入手できます!



※配信例

左のQRコードを読み取り登録してください。



特集

イノシシやサルに電気柵の中の作物を荒らされていませんか? **裏面へ**

特集

あなたのその張り方は、被害を防げてますか？ 電気柵内に侵入される原因と対策を紹介！

電気柵は「心理柵」といい、動物をワイヤーに触れさせて「痛い！」と学習させることで侵入を防止するものです。

そのため、設置や管理の仕方を間違えると「破ることができる柵だ」と学習されてしまい、効果がありません。

侵入される原因を学び、正しく設置して大切な作物を守りましょう。



侵入される原因① ワイヤーの電圧が低い

電圧の確認不足

定期的に電圧を測定し、5,000V以下の場合は原因を確認しよう



電圧計は必需品

アースの設置不備

アースは、それぞれ離して地中深くまで埋めよう



地面への埋め込みが不十分

草や木による漏電

草刈りを行い、ワイヤーへの接触を防ごう



これでは漏電してしまう

侵入される原因② 侵入するスキがある

地面との隙間から

傾斜や水路などの地形に合わせてワイヤーを張ろう



隙間があると通り抜けられる

飛び越えて侵入

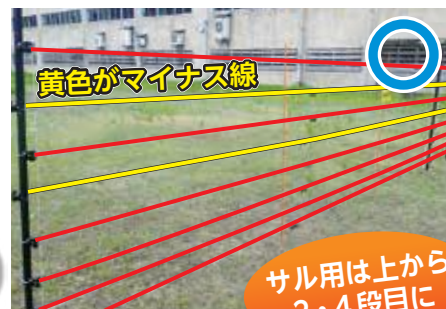
電気柵の近くにある「足場」となるものを取り除こう



足場から離して設置する

マイナス線がない

上部を触った時でも電気が流れるようにマイナス線を入れよう



黄色がマイナス線

サル用は上から2・4段目に

ほかにもこのような原因が考えられます

- **電気柵の周りに残さや生ごみが放置されている。**
→人間にとっては不要なものでも、動物にとっては貴重な食べもの。寄せ付けないようキレイに片づけましょう。
- **電源が電気柵の外側にある。**
→動物に電源を破壊されてしまうことや、サルの場合は電源を足場にして電気柵の中に侵入されることがあります。電源は柵の内側に設置しましょう。
- **通電していない時間帯がある。**
→動物は昼夜問わず活動しています。夜のみ通電する設定もできますが、必ず24時間通電してください。また、作物がない時期も必ず通電しましょう。



対策したらこんなに野菜がとれたぞ！